

平成 16 年 11 月 19 日

各 位

上場会社名 株式会社安楽亭
代表者名 代表取締役社長 柳 時 機
(コード番号 7562 東証第二部)
問合せ先 取締役総務人事部長 安部 一 夫
(TEL 048 859 0555)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 16 年 5 月 21 日の決算発表時に公表いたしました、平成 17 年 3 月期の単体及び連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 当中間期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）業績予想数値の修正

[単体業績予想数値の修正]

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益 又は中間純損失()
前回予想(A) (平成 16 年 5 月 21 日発表)	14,400	600	200
今回修正予想(B)	14,638	333	172
増減額(B) - (A)	238	267	372
増減率(%)	1.7	44.5	-
前年同期(平成 15 年 9 月中間期)	14,858	700	293

[連結業績予想数値の修正]

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益 又は中間純損失()
前回予想(A) (平成 16 年 5 月 21 日発表)	16,415	780	260
今回修正予想(B)	16,800	437	147
増減額(B) - (A)	385	343	407
増減率	2.3	44.0	-
前年同期(平成 15 年 9 月中間期)	17,224	968	521

2. 当中間期 業績予想数値の修正理由

(1) 単体業績予想数値の修正理由

売上高につきましては既存店の対前年売上高が 98.5%と順調に回復していることにより、売上高は前回予想を 2 億 38 百万円上回る見通しです。経常利益は、米国産牛肉の輸入禁止措置が継続されており、焼肉用の食肉は米国産に負うところが多く、その影響で国産・豪州産の価格相場も著しく上昇しており、営業利益率が予想より低下したことにより、経常利益は前回予想を 2 億 67 百万円下回る見通しとなります。

また、計画していた店舗改装、業績不振店舗の閉鎖等による特別損失に加え、減損会計を踏まえて事業資産の見直しを行い、資産の売却(売却損 5 億 42 百万円)を前倒しで実施いたしました。その結果、特別損失が 6 億 72 百万円発生することとなり、当中間純損失は 1 億 72 百万円となる見通しであります。

(2) 連結業績予想数値の修正理由

連結業績予想数値につきましても、上記理由により単体業績予想数値を修正することを主たる理由として修正するものであります。

3. 通期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)業績予想数値の修正

[単体業績予想数値の修正]

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)(平成 16 年 5 月 21 日発表)	28,700	1,100	340
今回修正予想(B)	29,200	800	150
増減額(B) - (A)	500	300	190
増減率(%)	1.7	27.3	55.9
前期(平成 16 年 3 月期)	28,157	668	285

[連結業績予想数値の修正]

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)(平成 16 年 5 月 21 日発表)	33,500	1,550	500
今回修正予想(B)	33,000	1,000	200
増減額(B) - (A)	500	550	300
増減率(%)	1.5	35.5	60.0
前期(平成 16 年 3 月期)	32,797	1,047	478

4. 通期業績予想数値の修正理由

単体・連結業績予想数値の修正理由

米国産牛肉の輸入禁止が現在継続されており、現時点で予想が難しいこともあり、当中間期 業績予想の修正金額をベースに、通期についても業績予想数値を修正するものであります。

5. 配当状況

当期の中間期及び、期末期の1株あたり配当予想は、前回発表通り、中間期5円、期末5円、年間10円に変更はございません。

〔注〕業績の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上